

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 アール・エス・シー

コード番号 4664 URL <http://www.trsc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 重安 宏

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 芳賀 敏晴

TEL 03-5952-7211

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,685	△7.6	△1	—	7	△87.8	△25	—
21年3月期第1四半期	1,824	—	57	—	59	—	△16	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△8.41	—
21年3月期第1四半期	△5.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	3,830	1,232	32.2	419.67
21年3月期	3,870	1,258	32.5	428.77

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,232百万円 21年3月期 1,258百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	3,300	△9.1	19	△66.7	16	△68.0	△25	—	△8.51
連結累計期間									
通期	6,710	△7.8	62	△53.7	54	△50.1	5	△33.0	1.70

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 2,940,000株 21年3月期 2,940,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 4,863株 21年3月期 4,863株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 2,935,137株 21年3月期第1四半期 2,938,641株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済状況は、世界同時不況の影響を引き続き大きく受けましたが、世界各国の景気刺激策に伴う財政出動と金融安定化策により、国内においても輸出や生産の一部に持ち直しの兆しが見られるようになりました。しかしながら、先行きの不透明感を払拭するには至らず、経済情勢については依然厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社の関連する業界におきましても、同業他社との激しい企業間競争が更に加速したことに加え、景気悪化に起因するお客様からのコスト削減や契約終了の要請が複数あり、厳しい状況で推移いたしました。

こうした環境において、当社は引き続き「お客さま第一主義」に徹した経営姿勢を貫き、業務品質の向上に取り組むとともに、提案型営業を推進し、また、収益力向上に資するため外注費等の原価管理の徹底に加え販売管理費の削減も徹底してまいりました。

しかしながら、世界同時不況に伴う景気悪化の影響が大きく、営業面におきましては厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第1四半期における連結会計期間の売上高は16億8,460万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。利益面におきましては、売上高の減少が大きく影響し経常利益が721万円（前年同四半期比87.8%減）となり、また、子会社の主要取引先である株式会社セントラル・ホームズが名古屋地方裁判所より平成21年6月18日に民事再生手続きの開始決定を受けた事から特別損失として当社に対する債権について2,012万円の貸倒引当金繰入を計上した事により四半期純損失は2,468万円（前年同四半期は四半期純損失1,636万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、38億2,988万円となり、前連結会計年度末に比べ4,012万円減少しました。主な要因は、売上債権が減少したことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、25億9,809万円となり、前連結会計年度末に比べ1,342万円減少しました。主な要因は、仕入債務の減少等によるものです。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、12億3,179万円となり、前連結会計年度末に比べ2,670万円減少しました。主な要因は、四半期純損失により剰余金が減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1億9,568万円増加し、9億6,209万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は753万円（前年同四半期は6,437万円の使用）となりました。これは主に貸倒引当金が増加し、また、売上債権が減少したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,226万円（前年同四半期は867万円獲得）となりました。これは主にソフトウェアの取得等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は2,352万円（前年同四半期は6,034万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の増加等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年8月10日付「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,483,218	1,449,916
受取手形及び売掛金	723,048	800,666
有価証券	20,992	25,271
原材料及び貯蔵品	4,253	5,178
繰延税金資産	36,356	39,064
その他	49,249	46,592
貸倒引当金	△1,737	△2,431
流動資産合計	2,315,380	2,364,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	360,355	360,355
減価償却累計額	△219,790	△217,183
建物及び構築物(純額)	140,564	143,171
土地	364,693	364,693
その他	84,785	83,701
減価償却累計額	△60,771	△59,997
その他(純額)	24,014	23,704
有形固定資産合計	529,272	531,569
無形固定資産		
借地権	47,121	47,121
ソフトウェア	150,786	160,121
ソフトウェア仮勘定	29,552	10,400
電話加入権	7,123	7,123
のれん	2,232	2,441
無形固定資産合計	236,816	227,209
投資その他の資産		
投資有価証券	351,855	345,371
差入保証金	62,565	62,977
保険積立金	150,896	149,620
繰延税金資産	175,959	181,527
長期貸付金	2,123	2,177
その他	27,771	7,926
貸倒引当金	△22,752	△2,625
投資その他の資産合計	748,418	746,975
固定資産合計	1,514,507	1,505,754
資産合計	3,829,887	3,870,013

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,886	123,576
短期借入金	438,400	307,786
1年内返済予定の長期借入金	265,318	283,828
1年内償還予定の社債	116,500	133,200
未払費用	341,730	341,067
未払法人税等	8,008	23,758
未払消費税等	63,512	62,135
賞与引当金	21,864	69,020
その他	146,881	86,345
流動負債合計	1,481,101	1,430,718
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	449,011	507,038
退職給付引当金	431,609	424,039
長期未払金	6,150	7,022
役員退職慰労引当金	130,221	142,700
固定負債合計	1,116,992	1,180,800
負債合計	2,598,093	2,611,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	302,000	302,000
資本剰余金	250,237	250,237
利益剰余金	699,360	738,716
自己株式	△1,729	△1,729
株主資本合計	1,249,868	1,289,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18,074	△30,730
評価・換算差額等合計	△18,074	△30,730
純資産合計	1,231,793	1,258,494
負債純資産合計	3,829,887	3,870,013

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,823,622	1,684,605
売上原価	1,531,144	1,434,210
売上総利益	292,478	250,394
販売費及び一般管理費	235,241	251,153
営業利益又は営業損失(△)	57,236	△758
営業外収益		
受取利息	3,842	1,608
受取配当金	1,381	1,419
有価証券評価益	199	7,261
不動産賃貸料	842	841
雑収入	1,944	2,751
営業外収益合計	8,209	13,881
営業外費用		
支払利息	5,460	5,611
雑損失	665	296
営業外費用合計	6,126	5,908
経常利益	59,320	7,214
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	565
固定資産売却益	284	—
投資有価証券償還益	1,032	—
特別利益合計	1,316	564
特別損失		
固定資産除却損	50	24
貸倒引当金繰入額	—	20,128
投資有価証券償還損	—	3,648
投資有価証券評価損	46,885	3,000
特別損失合計	46,935	26,801
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	13,701	△19,021
法人税、住民税及び事業税	6,521	558
法人税等調整額	23,549	5,101
法人税等合計	30,070	5,659
四半期純損失(△)	△16,369	△24,680

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	13,701	△19,021
減価償却費	4,621	13,455
のれん償却額	208	208
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,474	7,569
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,459	△12,479
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47,940	△47,156
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,183	19,432
受取利息及び受取配当金	△5,223	△3,027
支払利息	5,460	5,611
有価証券評価損益(△は益)	△199	△7,261
有価証券償還損益(△は益)	—	3,648
投資有価証券評価損益(△は益)	46,885	3,000
投資有価証券償還損益(△は益)	△1,032	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△284	—
有形固定資産除却損	50	24
売上債権の増減額(△は増加)	6,915	77,618
たな卸資産の増減額(△は増加)	410	925
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,409	△44,689
未払消費税等の増減額(△は減少)	△561	1,377
その他	△28,437	18,519
小計	△16,085	17,756
利息及び配当金の受取額	4,615	3,471
利息の支払額	△5,152	△5,057
法人税等の支払額	△47,749	△13,238
法人税等の還付額	—	4,603
営業活動によるキャッシュ・フロー	△64,371	7,535

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△413,305	△161,859
定期預金の払戻による収入	406,395	154,746
有価証券の償還による収入	—	6,890
有形固定資産の取得による支出	△2,509	△1,832
有形固定資産の売却による収入	693	—
ソフトウェアの取得による支出	—	△11,108
貸付けによる支出	△4,257	△2,131
貸付金の回収による収入	4,448	2,803
投資有価証券の償還による収入	20,000	—
差入保証金の差入による支出	△9	△25
差入保証金の回収による収入	—	437
その他	△2,780	△183
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,675	△12,262
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	60,140	130,614
長期借入金の返済による支出	△55,171	△76,537
社債の償還による支出	△16,700	△16,700
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△36,272	△872
自己株式の取得による支出	△282	—
配当金の支払額	△12,056	△12,976
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,342	23,528
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△116,038	18,801
現金及び現金同等物の期首残高	882,449	943,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	766,411	962,096

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	建物総合管理 サービス事業 (千円)	人材サービス 事業 (千円)	介護サービス 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,282,693	505,847	35,081	1,823,622	—	1,823,622
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,282,693	505,847	35,081	1,823,622	—	1,823,622
営業利益	112,432	39,137	2,965	154,534	(97,297)	57,236

(注) 1 事業区分の方法

当社グループの事業区分はサービスの系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な業務内容

- ① 建物総合管理サービス事業……建物総合管理(警備保障、清掃、設備管理、オフィスサービス)業務
- ② 人材サービス事業……情報管理、ファイリング、機器操作等の人材派遣業務、有料職業紹介業務
- ③ 介護サービス事業……介護サービス業務

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	建物総合管理 サービス事業 (千円)	人材サービス 事業 (千円)	介護サービス 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,239,921	408,310	36,373	1,684,605	—	1,684,605
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,239,921	408,310	36,373	1,684,605	—	1,684,605
営業利益	79,137	15,737	4,092	98,967	(99,725)	△758

(注) 1 事業区分の方法

当社グループの事業区分はサービスの系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な業務内容

- ① 建物総合管理サービス事業……建物総合管理(警備保障、清掃、設備管理、オフィスサービス)業務
- ② 人材サービス事業……情報管理、ファイリング、機器操作等の人材派遣業務、有料職業紹介業務
- ③ 介護サービス事業……介護サービス業務

【所在地別セグメント情報】

前連結会計年度及び当第1四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)において、当社グループには本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、当該事項はありません。

【海外売上高】

前連結会計年度及び当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)において、当社グループには海外売上高がないため、当該事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。